



平成 29 年 2 月 20 日

各 位

会 社 名 コカ・コーラウエスト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉松 民雄  
(コード番号 2579 東証第一部、福証)  
問合せ先 取締役常務執行役員 古賀 靖教  
企画・財務統括部長  
(TEL 092-641-8774)

## 株式交換により増加する「資本準備金」の額の減少および 「その他資本剰余金」への振替に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、「資本準備金」の額を減少し、「その他資本剰余金」に振り替えることを決議しましたので、お知らせいたします。なお、当社の業績に与える影響はありません。

### 記

#### 1. 資本準備金の額の減少の目的

当社は、平成 28 年 9 月 30 日付「コカ・コーラウエスト株式会社とコカ・コーライーストジャパン株式会社の経営統合に関する統合契約および株式交換契約の締結、ならびにコカ・コーラウエスト株式会社の会社分割による持株会社体制への移行、商号変更および定款の一部変更について～統合後の新会社の名称はコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社～」にてお知らせいたしましたとおり、コカ・コーライーストジャパン株式会社（以下、「CCEJ」といいます。）との間で、当社を株式交換完全親会社、CCEJ を株式交換完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」といいます。）および当社を吸収分割会社、当社の完全子会社である新CCW設立準備株式会社を吸収分割承継会社とする吸収分割（以下、「本吸収分割」といいます。）を併用することにより経営統合を行うことを予定していることに伴い、今般、統合後のより機動的な資本政策の遂行が可能となるよう、本株式交換と同時に、本株式交換により増加する資本準備金の額の増加分全額を減少し、その他の資本剰余金に振り替えることといたしました。

#### 2. 資本準備金の額の減少の要領

本株式交換により当社の資本準備金の額が増加することを停止条件として、以下のとおり資本準備金の額を減少します。

(1) 減少する資本準備金の額

本株式交換による資本準備金の増加額

(注1) 本株式交換においては、当社の資本金の増加額は「0円」、資本準備金の増加額は「会社計算規則第39条に従い当社が別途定める額」とされています。資本準備金の具体的な増加額は、本株式交換の対価として交付される当社株式(株式数:95,117,769株(予定))の時価を基礎として算定されます。

(注2) この資本準備金の額の減少は、本株式交換と同時に、本株式交換による資本準備金の増加額を減少するものです。したがって、その効力が生じた後の当社の資本準備金の額は、本日時点における資本準備金の額108,166,569,280円と同額になります。

(2) 減少する資本準備金の額の取扱い

減少する資本準備金の額は、資本金とせず、全額をその他資本剰余金といたします。

(3) 資本準備金の額の減少の方法

会社法第448条第3項に基づき、取締役会の決議によって資本準備金の額を減少いたします。

3. 資本準備金の額の減少の日程

- |               |                           |
|---------------|---------------------------|
| (1) 取締役会決議日   | 平成29年2月20日                |
| (2) 債権者異議申述期間 | 平成29年2月28日から平成29年3月27日まで  |
| (3) 効力発生日(予定) | 平成29年4月1日(本株式交換の効力発生日と同日) |

4. 今後の見通し

本件による資本準備金の額の減少は、資本準備金の一部をその他資本剰余金へと振り替えるものであり、当社の純資産の額に変動はなく、当社の業績に与える影響はありません。

また、上記1.に記載のとおり、当社は、本株式交換の効力発生を条件として、本吸収分割を行います。本吸収分割に伴い、当社は会社計算規則の定めるところに従い、その他資本剰余金の額を減少させますが、当社の連結業績に与える影響はありません。

なお、減少する資本準備金の具体的な額については、確定次第改めてお知らせいたします。

以上